



【戦評シート】

平成 16 年 5 月 3 日 (月)	協会名： 能代市 バスケットボール協会	
場 所： 能代市総合体育館	記入者： 糸井 大輔	
チームA <u>松江東高校</u>	$\left\{ \begin{array}{l} 14-33 \\ 16-21 \\ 11-20 \\ 20-34 \end{array} \right\}$	チームB <u>市立船橋高校</u>
61	108	

スターター	チームA： #4安部, #6佐藤, #7青砥, #9林, #13永田
	チームB： #5吉本, #6中村, #7福田, #9西薨, #10鈴木
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()
	チームB： <input type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()

両チームとも、マンツーマン・ディフェンスでスタート。序盤から市立船橋がインサイドで優位に立ち、#6中村と#10鈴木が次々とオフェンスリバウンドを奪っては得点につなげる。一方の松江東は、パスが回らず苦しいシュートが続く。5分過ぎで18-2と市立船橋の一方的な展開になりかけたところで、松江東はたまたまタイムアウトを取るが、流れは変わらず市立船橋の19点リードで第1Qを終える。

第2Qに入り、松江東はディフェンスのプレッシャーを強めて速攻が出始めるが、市立船橋も#7福田が要所で3Pを沈め、追撃を許さない。リバウンド力で上回る市立船橋がじわじわとリードを広げる。

第3Qに入ると松江東はディフェンスを3-2ゾーンに切り換え、インサイドを固めにかかる。市立船橋はゾーンを攻めあぐむが、松江東もシュートが決まらず反撃のチャンスを生かせない。

第4Q、ゾーンディフェンスのすきを突いて市立船橋のガード陣が立て続けに3Pを決め、さらに一方的な展開となる。結局、終始ディフェンス力とリバウンドで上回った市立船橋が100点ゲームで圧勝した。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。